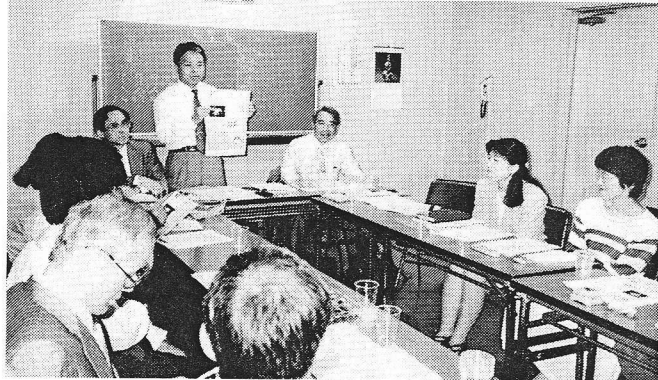


# トリドリに世相トリ込み笑いの輪 アフタ5に集う「同巢会」ジョークサロン」が結成5年

アフタ5は、ユーモアたっぷりな笑いの渦。ジョーク好きの男女が、毎月一度、神田など都心の会議室に集まる「同巢会」(とうそうかい)ジョークサロン」(野本浩一代表)が結成から五年を迎えた。笑いを全国に飛ばそうと、発行している会報「伝笑鳩」も七十号に達した。地下鉄サリン事件など物騒な世相も巧みに取り込み、健康な笑いの輪を広げている。

野本代表(立っている人)の司会で笑いをふりまくりまく「同巢会」常連のジョークサロン」(野本浩一代表)が結成から五年を迎えた。笑いを全国に飛ばそうと、発行している会報「伝笑鳩」も七十号に達した。地下鉄サリン事件など物騒な世相も巧みに取り込み、健康な笑いの輪を広げている。



この会、無類のジョーク愛好家、ビジネスの世界でも持ち前のユーモアで営業成績を上げたライオン商事の元社長、故山下広蔵氏の呼び掛けで発足した。ユーモアのセンスが豊かな英、米国人並み

に話術を高めようと同志を募った。会員は都内の大金業の管理職や団体職員、OL、主婦ら約二百人。月一度の例会には、常連のほか、新入りの会員や見学の女性ら

## 「伝笑鳩」全国に飛ばし70号に

### トリあえずの作品例

最近の例会から、評価の高かった作品を採録すると――  
◆替え歌―「与作」 レストラン支配人(五世)  
オウムはサリン撒く  
ヘイヘイホー、ヘイヘイホー  
尊師はうなづいて、ポアポア  
ポア、ポアポアポア  
オウムは皆んな作る  
銃シューウシューウ、薬ヤクヤク

働きたよ、トントントン、トントントン  
オウムオウム、もう夜が明ける、オウムオウム、警察が呼んでいる  
逮捕、ホーホー  
◆だじゃれ川柳 同  
キツツキが発射計画穴をあけ  
銀行でエースになれずハイジヤック

首位打者は一浪ですと東大生  
◆コミックどいつ 生保会社課長(五世)  
政治不信や宗教不信 二信組  
不信で株不振  
銚子電鉄調子が狂い、交換忘  
れてハチ合わせ  
ゴルフ汚職を叩いた市長 返すクラブで叩かれる  
◆かたえくぼ 無職(六)

海外厭世―ジャンボ尾崎  
K続は力なり―野茂投手  
はるばるきたせ函館―全日空乗客  
一夜一夜に人見殺し―麻原教祖  
◆狂歌 保険会社課長(四世)  
テレビでは全日空が見えず  
穴(ANA)に入りたいたいほど記者がつめよ

二十人が集まる。参加者が順に、川柳、どどいつなど、得意ワザを披露。仲間によれのめざれながら笑いの感触を確かめあう趣向だ。会報の「伝笑鳩」は遠方のため、例会に参加できない地方の会員向けが目的。例会で披露された作品のほか、郵便やFAXで受けた小話や川柳、替え歌、マンガ、駄じゃれなどの傑作を載せている。新聞や雑誌の常連投稿者も多い。笑いの効用について、会員から

「深夜までジョークづくりに頭を使っている自分の姿をみて、娘が勉強するようになった」(自営業・五十七歳)、「社縁や地縁、血縁以外の愉快な人脈ができ、ストレス解消をはかっている」(OL・三十五歳)などの声があがっている。同会代表で、会報「伝笑鳩」変集鳥(編集長)の三菱重工営業課長、野本浩一さん(四世)は「会員たちが頭をしばって生み出したジョークは数えきれません。分野別に整理し、出版したい。今後はイギリス人やアメリカ人の会員も加え、笑いの国際化をはかりたい」と話している。